

いのちの言の葉

「平均年齢60歳 ヒマラヤ7,000mに挑戦」

(総合的な学習の時間)

平成20年度 立山町立高野小学校 5・6年

富山県教育委員会 平成20年度いのちの教育支援事業 平成20年7月18日実施

「登山から学んだこと」

2005年、64歳でネパール北側に位置する「ギャジカン峰(7,038m)」の登頂に成功した村上清光先生から登山の魅力や厳しい登山から学んだことについてお話を聞きました。

村上 清光先生のプロフィール

- ・ 元富山市立呉羽中学校校長
- ・ 日本山岳会会員、日本山岳写真協会北陸支部所属
- ・ 2005年、64歳でネパール北側に位置する「ギャジカン峰(7,038m)」の登頂に成功

7,038mの山に登ると、危険な目にたくさんあうかもしれないのです。村上さんは登山をしていて、雪崩に遭ったことがあるそうです。そのときは、雪崩の上に乗って滑り落ちたそうです。もし雪崩の下になっていれば死んでいたかもしれないと話されました。また、岩登りをしていて落ちそうになるなど、危険なことがたくさんあると分かりました。

「いのち」とはどんなに大事なことが、一つ間違えたら「死ぬ」ことがあることもすごく心に残りました。

今、私たちが生きているということがどんなにありがたいことなのか、すごく心に残りました。

私がこの授業で学んだことは、人間は常に死と隣りあわせということです。今日は山の話だったけど、毎日当たり前前に生きるのではなく、生きられることに感謝していきたいと思いました。

山であっても、学校でも、家でも、油断すると、一つ間違えば死んでしまうということもあります。

たった一つのいのちを大切にするために、今日、村上さんが言われた「人間に不必要な人はいない」という言葉を忘れず、生きていきたいと思います。つらいことがあってもこの言葉を思い出して、たった一つの大切ないのちを今までよりもっと大切にしたいと思いました。

ぼくは、村上さんが苦しくてもあきらめずに山に登ったことがすごいと思いました。

村上さんは、ぼくたちにいのちの大切さなどいろいろなことを教えてくださいました。それに村上さんは外国の山など様々な山を登っておられたこともすごかったです。

村上さんは次に約8,000mの山に登ろうとしておられることもびっくりしました。今度、ぼくたちも立山登山をするけれど、村上さんのおっしゃっておられたことをしっかり守って、立山登山をしたいです。

